



# ひらどだい

令和2年度 学校だより 9月号 横浜市立平戸台小学校学校長 藤巻 孝之



## 相手を意識する

校長 藤巻 孝之

折り紙で作った扇子。小さな宝箱。綿で作ったてるてる坊主。青空に太陽が輝く絵…。これらはみな、子どもたちの様子を見に教室を回っている際に、子どもたちが私にプレゼントしてくれたものです。プレゼントは「物」ばかりではなく、家での出来事や習い事についてなど「こと」の場合も多くあります。なぞなぞやクイズ、学習した情報から問題が出されることもしばしば（「間違えられない」と慌てます…）。

子どもたちからのアプローチはいつも突然で、いつもあたたかく、いつも笑顔があふれます。子どもたちは常にだれかを意識して生活しています。だれかとかかわり合いたい、何かとかかわり合いたいと自然発生的に思っていて、その欲求を満たすために様々なアンテナを働かせています。

授業のプランを立てるとき、子どもたちの「かかわり合いたい」という思いを生かすことがあります。学習のねらい（身につけさせたい力の獲得）を達成するために、相手を意識した活動を目的とします。「物語を読んだ感想を友だちと交流させよう」「野菜作りの過程を家の人に伝えるリーフレットを作ろう」「運動会の演技を後輩に伝達しよう」。こうなると子どもたちは相手の姿を思い浮かべ、何を、どうやって伝えようかと自ら考え始めます。相手の存在が活動の原動力やモチベーションとなるのです。

ちょっかいを出したり、私語が多くなったりすることも、肯定的にとらえれば相手を意識し、かかわりを求めているからこそその言動と言えるでしょう。子どもたちがもつ「相手を意識する」力、「相手を意識する」感覚をより多くの場面で意図的に発揮させ、さらに伸ばしていくことに努めなければならないと思います。その先に主体的に意欲的に問題を発見したり、問題を解決したりしながら、楽しく生き生きと学ぶ子どもたちの姿を思い描くことができるからです。

さて、今月もたくさん教室を回らましょ。授業の邪魔にならないように。

### 【 10月17日（土）運動会を行います！ 】

- ◎ 全校が一堂に会して目的・目標に向かって取り組む教育的価値の高い行事を大切にする。
- ◎ 平戸台小の子どもたちが「成長している姿」「成長していく姿」を共有するとともに、平戸台小の子どもたちにかかわるすべての大人の「熱意」「思い」「姿勢」を共有する。
- ◎ 新型コロナウイルスを「正しく恐れ」ながら「できることを見つける」ことで、限られた条件の中で最大の教育的効果を上げる。

以上の方針のもと運動会を開催いたします。「会食時の感染が最も懸念されるため午前中のみの開催とする」「密を避けるために団体競技は行わない」などの制約はありますが、校庭を広々と使用していただき、ご家族そろってご来校いただきたいと思います。

なお、本年度は児童とご家族、本校職員のみで開催いたします。大変心苦しいのですが、ご来賓の皆様へのご案内は自粛させていただきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。